

11月16日 天ヶ岳

伊藤 多恵子

| | | | |
|-----|--|-----|--------|
| 山名 | 天ヶ岳 | 山行名 | 例会 |
| ルート | 鞍馬駅～薬王坂～戸谷峰～天ヶ岳～寂光院～大原バス停 | | |
| 山行日 | 11月16日 | 天候 | 曇り時々晴れ |
| 参加者 | リーダー：伊藤（多） サブリーダー：平尾 男性：佐々木 木田 女性：上田 玉井 蒲田 合計：7名 | | |

| | | | | | | |
|------------|--------|------|------|-----|-------|-------|
| ルート概略図 | コースタイム | | | | | |
| | 地名 | | 時：分 | 地名 | | 時：分 |
| | 出町柳駅 | 集 | 8:00 | 戸谷峠 | 着 | 10:10 |
| | | 発 | 8:12 | | 発 | 10:20 |
| | 鞍馬駅 | 着 | 8:43 | 天ヶ岳 | 着 | 11:45 |
| | | 発 | 8:50 | | 着 | 11:50 |
| 薬王坂 | 着 | 9:20 | 寂光院 | 着 | 14:15 | |
| | 発 | 9:25 | | 発 | 14:15 | |

山行報告

シニア向けのハイキングのつもりで平日の例会とした。実際、ほとんど70代となったが、Kaさん一人で平均年齢を下げてくれた。

叡電の窓から見えるもみじも色付き、1週間前の下見時と比べてもいっそう紅葉が進んでいる。

鞍馬駅から出発して数分で薬王坂への道に分かれる。空き地で準備体操して出発。薬王坂までは京都一周トレイルとなっている。歩き始めて、ぽつりと頬に雨が。家を出た頃の青空が曇り空に変わっている。が、心配した雨にはならず、時々晴れ間の見える一日となる。

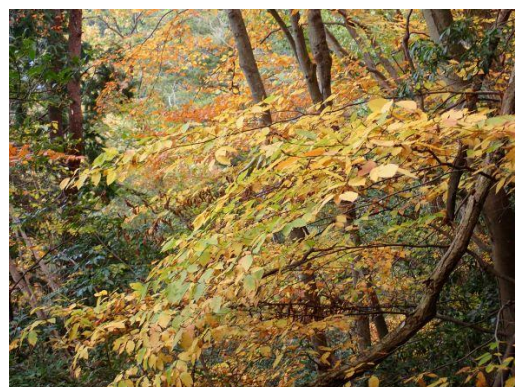
天ヶ岳までは、眺望のない杉林に時々自然林の混じる単調な道。小さいピークを6つほど超えて、ロープの張られた滑りやすい急斜面をよじ登ると戸谷峰に至る。静原への分岐を横目に進むとそこから長い水平道が続くが、落ち葉の積もった道は柔らかくて気持ちがいい。長い緩やかな道にあくびの出る人も。

やがて、最後の登りにさしかかり、小さな円形の平らな頂上に出た。眺望がないので、少し先の紅葉がよく見える林道脇で昼食とする。

30分の休憩後、寂光院への下りを取る。最初は岩の露出した急坂で少し歩きにくい、そのうち鹿除けのネットを張った杉林横の道になると、全くの水平道。Kiさんの歌声が聞こえてくる。ようやく最後の下りを経て、寂光院に至る。山では一人のハイカーにも出会わなかったが、ここでは観光客が多い。周辺のもみじもキレイに色付いて、京都の秋を楽しんでいるよう。大原バス停であわただしく解散。挨拶もせず失礼しました。大原三山、大原十山というのがあるようで、まだまだ歩きたい山域です。

深まる秋を存分に楽しむ静かな山歩き、との想いで企画しましたが、物足りなかった人もいますかな？ yamapのデータ タイム5:38 距離11km 上り773m 下り798m

(ヒヤリハットなし)



天ヶ岳 感想文

佐々木康治

参加者は揃って 70 代の若者 (!)、蒲田さんだけがアラ fifty、皆から見ると子供の世代だ。叡電鞍馬行きに沿線は紅葉の真っ盛り、この時期この区間はスロー運転の特別サービス、乗客に紅葉狩りを堪能させてくれる。鞍馬駅で降りると火の粉をまき散らしながら大松明が練り歩く鞍馬の火祭 (10 月 22 日) の喧騒が蘇った。枯れ葉がうず高く積もる山道では誰にも出くわさず静寂そのもの、木田さんのつぶやくような歌声が流れる。ピークを 3 回ほど越え、これが最後の上りと信じさせられて歯を食いしばると 899m の天ヶ岳山頂、喜寿の足腰を「よく頑張ったね」と褒めたたえる。赤、黄、緑の樹林帯を眺めながらのランチは格別。健脚ばかりの高齢者パーティは、時折射す陽光の恵みに感謝しながら、疲れも知らず寂光院に 2 時過ぎに到達。心身ともにリフレッシュする快適な一日を贈ってくれた伊藤・平尾ペアに深謝して解散、マスク姿の観光客で賑わう大原を後にしました。

蒲田 史

秋の静かな山を満喫できた山行でした。山頂までは緩やかな山道が続きます。山は眺望がありませんが行き帰りの紅葉を楽しんでください、との言葉通り、行きの叡山鉄道では市原駅と二ノ瀬駅間の「もみじのトンネル」がとても美しく、下山後は寂光院付近の紅葉も素敵でした。今年の紅葉はもう一つかと思っていましたが、京都のもみじはさすがに素晴らしかったです。ご一緒してくださった皆様ありがとうございました。